

# がんばろう!東北

## 東日本大震災視察 (23.8.4~5)

我々一人一人は、平成23年3月11日(金)の午後2時46分は何をしていたでしょう。平和に暮らしていた街や家族が一瞬のうち、未曾有の災害に繋がるとは誰も予想はしていなかったでしょう。

昨年の12月に発表された漢字「絆」は、東日本大震災で、家族や仲間の尊い命を失うことや、まだ連絡が取れず不安な日々を過ごした体験は、あらためて家族・友達・恋人・地域の人々との「絆」の大切さを知ったことと思います。

さて、大震災から147日が過ぎた日の8月4日から5日の日程で、中部緊急防災協会(防災隊)の総勢19名で名取市、塩竈市、東松島市、石巻市、相馬市、南相馬市を視察しました。新聞やテレビでの報道は、日々新しい情報が耳や

目に入ってくるが、現地の重苦しい空気や立体的な映像は伝わってこない感じがする。この視察で見るもの全てが、地震・津波の恐ろしさが心に痛烈にのしかかっています。

視察おのおのから出た声は、「こりゃ!すごい」や「なんで、ここまで津波来たんだ。」など、今でも脳裡に残っています。視察を終えて、ここ東海地方も今後起きるであろうと予想される「東海・東南海・南海地震」に向けて2011年の漢字「絆」を忘れず暮らして行こうではありませんか。

